

こちら

議会広報部

2013.7 発行 / 周防大島町議会
第34号 〒742-2192
周防大島町大字小松126-2
TEL: 0820-74-1003(議会事務局)
編集 / 議会広報編集特別委員会
印刷 / (有)日良居タイムス

今回の主な内容

- 6月定例会 2~3P
- 一般質問 4~5P
- 視察報告・委員会報告 6~7P
- その他..... 8P



田助隊の田植え風景(屋代)

6月定例会

24議案 可決

平成25年第2回周防大島町議会（6月定例会）が、6月11日から19日までの9日間の日程で開かれました。

議会初日、町長より行政報告ならびに議案の説明を受け、各議案の審議等を行い、継続審査となっている請願、新規条例は、所管の委員会へ付託審査としました。

休会中、13日には地域活性化特別委員会、14日には防災対策特別委員会を開催し、それぞれの所管部分での検討・審査を行いました。

また、14日には、町内公共施設視察を行いました。今回は、B & G海洋センター（横見）を視察しました。

18日に一般質問、最終日の19日には、常任委員長の委員会審査報告、追加議案3件の審議を行い、討論、採決の結果、全24議案をすべて可決しました。

条例の制定・一部改正等

制定したもの

- ・周防大島町子ども・子育て会議条例
- ・周防大島町一般職の職員等の給与の臨時特例に関する条例
- ・周防大島町船舶職職員の給与の臨時特例に関する条例

一部改正したもの

- ・周防大島町税条例
- ・周防大島町国民健康保険税条例
- ・周防大島町介護保険条例
- ・周防大島町遊休農地等保全対策市民農園の設置及び管理に関する条例
- ・周防大島町都市下水路条例
- ・周防大島町営住宅及び一般住宅条例
- ・周防大島町病院事業等の設置等に関する条例
- ・周防大島町後期高齢者医療に関する条例
- ・周防大島町諸収入金督促手数料及び延滞金徴収並びに滞納処分執行条例等の一部を改正する条例等

変更したもの

周防大島町過疎地域自立促進計画

平成24年度 繰越明許費

		事業名	翌年度繰越額（千円）
農林水産業費	農業費	農業振興対策一般経費	589万4
		県営農業基盤整備事業	2,675万
	水産業費	水産振興対策事業	250万
		漁港施設管理事業	1億695万
		海岸保全整備事業	2億3,227万2
土木費	道路橋りょう費	道路橋りょう維持管理事業	1,539万
		街灯管理事業	200万
		道路新設改良事業	8,910万
	住宅費	公営住宅一般管理経費	4,796万8
消防費	消防費	消防施設整備事業	2,509万3
合計			5億5,391万7

平成25年度 6月補正予算

(6/11提出分)

(千円)

	補正額	計
一般会計	5,057万	141億905万7

(専決処分)

専決処分された補正分の他に、総額9,966万4千円の一般会計補正予算をくみました。歳入歳出の明細は下記の通りです。(千円)

		補正額	計
一般 入	国庫支出金	1,733万4	13億6,726万2
	県支出金	4,540万	9億5,162万
	繰入金	965万2	3億5,491万
	請収入	227万8	2億5,160万4
	町債	2,500万	12億6,640万
	歳入合計	9,966万4	142億872万1
	一般 出	総務費	0
民生費		2,103万4	28億874万1
衛生費		21万	7億7,900万3
農林水産業費		5,000万	7億8,941万1
商工費		2,431万4	5億7,275万9
教育費		410万6	16億447万7
歳出合計		9,966万4	142億872万1

新たに生じた土地の確認と区域

- 県道拡幅工事により、
- ・大字戸田地区(今朝日) 4,648.95㎡
 - ・大字家房地区(横山) 5,473.37㎡
 - ・大字出井地区(滝山) 3,012.45㎡



東和病院 診療開始

6月3日、建て替え工事をしていた東和病院の新築工事が終了し、診療を開始しました。旧病棟は、現在解体中です。



新築された東和病院

休憩中のテロップに時間を入れました

現在、町議会は、ケーブルテレビで議会生中継されていますが、休憩中の画面に、再開時間がわからないので何時から再開なのかテロップを入れてほしい旨の要望がありました。協議の結果、この6月議会より、休憩時間または再開時間の入ったテロップを流すこととなりました。今後とも、よろしくお願いたします。



ただいま休憩中バージョン

議会終了バージョン

一 般 質 問

周防大島高校再編の要望を

吉田 芳 春 議員



問 昨年12月町議会的一般質問で、安下庄と久賀両校舎を統合し、周防大島高校が誕生して以来未だに2校舎体制が続いており、特に、野球部活動で往復1時間を費やし、久賀の寮から安下庄校舎

間を行ったり来たりして大変な不便と経済的な負担を強いられているので、高校の設置場所を、久賀校舎への変更について県教委への要望をお願いした。その質問に対しての町長及び教育長の答弁は、「高校の設置場所については、町内で多様な意見があることから、慎

重に取り扱わなければならない。」と県への要望書の提出を否定された。しかし、実際には、町長名で福祉専攻科を設置する旨の要望書が県教委へ提出されている。町民は、福祉専攻科や地域創生科を新たに設置するよりも、福祉科の存続を望んでいる。見解は。

答 福祉専攻科の設置は、県教委に要望している。

問 周防大島高校の再編整備計画は、教育関係者、PTA、同総会、野球後援会そして町議会議員等に対しても、十分な説明もなく、地元住民を無視して決めた今回の高校改編案は、白紙撤回するべきだと思う。見解は。

答 周防大島高校の再編案の白紙撤回を要望する考えはない。



Facebookの活用と農業後継者不足の認識は？

濱 本 康 裕 議員



問 南島原市のように観光に特化した形でFacebook（以下FB）を活用している自治体がある。フォトコンテストをFB上で実施し民泊の受け入れが倍増するなどの効果がでている。周防大島町としてもこのような形でのFB活用を検討されてはどうか？

答 観光に特化した形でのFB活用は有効性があると思う。観光協会とタイアップして周防大島のPRとしての使い方をするなど、観光協会の事務と相談しながら研究し

てみたい。

問 農業者の高齢化による後継者不足が深刻である。特に稲作農家の後継者が不足しているように感じるがその事に対する町としての認識は？

答 新規就農者の中で稲作にとりくむ就農者は少ないと感じている。稲作・柑橘・野菜を組み合わせたり、圃場整備をすすめていくなど、経済活動として自立できる農業に取り組める環境作りに努力していきたい。



南島原市のFacebookより

ここが聞きたい!!

4名が登壇

周防大島町の防災対策について

久保雅己 議員



問 周防大島町の防災対策について

答 南海トラフを震源とする巨大地震の発生時期や規模の予測は困難。「減災」のための事前防災対策が必要であり、発生確率が30年以内に

60%~70%とされ、「命を守る」ことを基本とし、自助・共助の取り組みを強化し、支援していく必要があると考える。津波発生時の海抜表示も町内に、204箇所設置。備蓄も防災センターに5,888食。飲料水もペットボトル1,008本。町内13箇所に防災倉庫も設置済。更に4離島にも防災倉庫を設置予定。「周防

大島町耐震改修促進計画」に基づく無料耐震診断及び耐震改修補助事業の実施。緊急情報を住民に発信。非常時の通信網を整備し、『Jアラート』やエリアメールも活用する。

問 自主防災組織の進捗状況について

答 自主防災組織は自治会等において組織され、実績に於いては、24年度が25団体、今年は5月末現在で、10団体が組織化されている。町は、防災資機材や防災訓練の費用の助成、自治会と一体となって、実効性のある自主防災組織の育成に努める。

問 大島大橋の維持管理状況について

答 大島大橋は1976年(昭和51年)に供用開始以来37年。経年劣化については、耐震補強工事費用は、15億9,300万円。24年度までの累計工事費は、32億8,000万円と継続的に工事を続行。更に塗装工事も2億7,600万円を予定している。

町長は福祉科存続への努力を求め

廣田清晴 議員



問 私は県教委から文化センターで行われた周防大島高校再編問題説明会に参加した場で発言したのは、何処に本校舎を置くかの議論は結果として県教委を喜ばすだけ。

本当に周防大島高校を存続させるには子供たちや親の価値観の変更が必要。改編案の議論は今からであるとの立場を明確にした。町長はいつ県教委から再編問題の説明を受けたのか又、議会町民にどのように説明したのか。

答 学校や地域の関係者からの意見の聴取の

一環として5・7・8・11月と意見交換を行った。しかし高校改編に権限がないので議会、町民に説明していない。

問 高校から介護福祉士の道が閉ざされ、中学生の選択の幅が狭められることへの認識は。

答 高校教育の目的から従来の福祉科継続は厳しいと説明を受け状況を理解した。

問 周防大島高校開校の際「当面2キャンパスで将来安下庄に統合する」との案は町民・議員にとって寝耳に水。

答 今回の改編案はその当時の状況を踏まえたもの。3月の全協で県教委の方向を議員各位の意見を踏まえ、対応した。



子ども・子育て会議設置へ

付託された周防大島町子ども・子育て会議条例の制定について、審議の結果、全員賛成で可決すべきものと決定。以下、質疑応答の主なものについて報告する。

「子ども・子育て会議の役割について。会議が計画立案だけで終わるのか、どういう会議の役割なのかを今時点でわかる範囲での回答を」との質問に対し、執行部より「教育、保育施設や地域型保育事業の利用定員を定める際や、子ども・子育て支援事業計画を策定・変更する際は、この会議の意見を聴く。また、継続的に点検、評価、見直しを行う」との答弁。「具体的にはどのような事項に関する調査審議を想定しているのか。」との質問に対し、執行部より「第1に、幼児教育・保育・子育て支援のニーズが適切に把握されているか。第2に、教育・保育施設と地域型保育など、施



設・事業のバランスのあり方、幼児教育・保育の提供体制の在り方や目標。第3に、ニーズを満たすだけの必要な地域子ども・子育て支援事業が計画に盛り込まれているか。第4に、費用の使途実績の調査や事業の点検評価。第5に、ニーズ調査いわゆるアンケート調査の項目の検証を予定している。」との答弁。「先行している他の自治体では、委員の選抜方法において公募をしている。子育て中の方、就学前児童を養育している方などを複数公募している。また、これらの公募委員が参加できるよう会議の開催時間に配慮したり、託児所を設けるなどの配慮の上、子育て世代の方々への公募を行っているが、周防大島町での公募の予定はあるのか。」との質問に対し、執行部より「第2条

の子ども・子育て会議を組織する委員の公募は考えていないが、第3条の臨時委員については、公募する場合もある。」との答弁。

公共施設視察研修報告

B & G 海洋センター（横見）

6月14日、塩害による雨漏りが出る等、施設の老朽化が進み、またトイレ、シャワー、更衣室がなかったため改修・新築工事（総事業費約

3,447万円）を行った横見にあるB & G海洋センター艇庫を視察研修した。

B & G指導員（B & G海洋センター育成士会有資格者47名）による、海洋性スポーツレクリエーションを通じたスポーツ団体及び青少年の育成を行っている。

平成24年度利用状況は、637名。そのうち体験型修学旅行生の利用が、5団体236名であった。利用形態としては、カヌーをだして近場で練習をして、彦島（約2Km）を往復しており、修学旅行生には無人島に上られるので喜ばれている。

課題としては、施設への入り口が狭いこと、監視等の不安から監視艇の追加を検討している。



地域防災の必要性を再認識

6月14日、防災対策特別委員会を開催し、午前中は外入郷地区の視察を行った。急な要請にもかかわらず、地元区長、宮司、住民の方々にご出席をいただき、貴重な説明を受けた。安政南海地震（推定マグネチュード8.4）は、1854年12月24日に発生した海溝型大地震である。この地震発生後、津波の到達点が残っている場所を現地視察した。

その地点は、町並みをほぼ見下ろす海拔16mの地点であり、近くの大川を津波が遡上し、山野に流入したといわれている。地元では、こういった被害を風化することなく、津波到達碑及び案内看板の設置

を予定している。完成後には、当地区から次世代へ伝承する警鐘の碑にし、是非とも足を運び、大災害の教訓にして頂きたいとのことであった。

午後からは、町内の防災対策の動向視察を目的に家房地区を訪れ、区長より当地区の自主防災組織の結成及び避難訓練の状況成果等について説明を受けた。5月に周防大島チャンネルで放映された防災活動であるため、ご存じの方も多いただろう。質疑応答される中でも、家房地区全体が適正規模の4地区の防災組織として同時に結成届がされている。担当職員も何度も足を運んだ



と聞く。結成に向けての問題点を聞くつもりであったが、逆に防災に対する前向きな姿勢と住民の一体感、地域力を感じざるを得なかった。さらには、年4回の祭り行事を含め、花見等で年6回は区全体の集まりがあると聞いた。

こうした平素の付き合いが、全てを物語っていると再認識した。4地区合同の避難訓練は、160名が参加。サイレンを合図に高台の神社に向かう。消防団は居

残りがいないか確認に回り、リヤカーに乗せ移動。そして区長に点呼報告。看護学校からの生徒も参加し色を添えたそうだ。場所をかえ、防災センター長からの講話と充実した地域ぐるみの訓練が行われた報告があった。思いやりと連携の家房地区のように自分たちの命は自分たちで守る、その自助、共助の取り組みが必ず防災減災につながると痛感した。

近年の甚大な被害に備え地域の防災力が求められている。江戸時代からの地震の周期等についても、担当課より説明を受け、地震活動期にある現在を再認識し、あらためてその必要性を強く感じている。皆さんの地区も集まってみてはいかがでしょうか。



付託された「周防大島町久賀歴史民俗資料館等指定管理者の選定方法の検証を求める請願書」に

ついては、委員全員出席のもと、十分な審査の結果、全員一致により不採択すべきものと決定。

動産の買入れ契約

買入物件	入札執行日	入札者数	落札会社	落札金額(消費税込み)	比率
塵芥車	H25年5月9日	10社	(有)岡田モータース	979万6,880円	70.15%

議員研修・議員派遣の報告・予定

行事内容	日程	開催地	目的及び参加議員
B&G海洋センター艇庫視察	6月14日	横見	施設の概要と運営状況
町村議会広報研修会	7月29日 ~30日	東京	議会広報実務担当者を対象にした研修 広報委員6名
柳井地区広域市町議会議員研修会	8月21日	柳井クルーズホテル	議会相互の連携と地方自治の発展に 寄与 議員全員
山口県議会実務研修会	8月28日	山口市	議会実務に関する研修 議員全員

町人会

行事内容	日程	開催地	参加議員
広島町人会	7月7日	ホテルグランヴィア広島	田中、魚谷、松井、今元、尾元の各議員

編集後記

祝 周防大島町・第7回自治体国際交流表彰(総務大臣賞)受賞!!

ハワイ州カウアイ郡と交流を続ける本町が、国際交流で功績のあった自治体や団体に贈られる自治体国際交流表彰を受賞しました。

受賞理由は、文化・産業・スポーツ等の分野で活動を展開、加えて同郡とのフラダンスを通じた交流を縁として、国内でフラダンスを広めている福島県いわき市と民間ベースで交流。さらにいわき市とカウアイ郡の友好協定の締結、本町からいわき市への東日本大震災後の被災者支援を契機として3都市間の交流へ拡大した事があげられます。



(左列上より)平野 和生、魚谷 洋一、濱本 康裕
(右列上より)平川 敏郎、松井 岑雄、田中隆太郎



議会広報・議事録を「周防大島町ホームページ」で公開しています。

周防大島町ホームページ <http://www.town.suo-oshima.lg.jp>

なお、各図書館には議事録を備えています。